



手動ダンプまたは電動昇降付き荷台取り付けキット

2011 - 2013 年度製造の Workman® MD シリーズ作業車用

モデル番号127-7385

モデル番号127-7386

取り付け要領

安全について

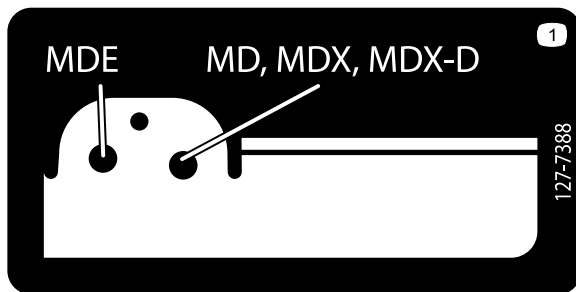
⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされています。

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



127-7388

1. ピンの位置



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	－	マシンの準備を行う。
2	必要なパーツはありません。	－	手動式荷台搭載車の荷台を外します。
3	ピボットブロック フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/2 インチ	2 4	ピボットブラケット・アセンブリの取り外しと取り付けを行います。
4	ラッチ・アセンブリ フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ 取っ手	1 4 2	ラッチ・アセンブリを取り付けます 手動式荷台搭載車。
5	支え棒プロップロッド ワッシャ1/2 インチ ヘアピン	1 1 1	さえ棒を取り付けます。
6	外側昇降ブラケット 内側昇降ブラケット 六角ヘッドボルト5/16 x 5-1/2 インチ ロックナット5/16 インチ	1 1 1 1	新しい荷台の取り付け準備を行います。
7	必要なパーツはありません。	－	荷台を取り付けます。
8	必要なパーツはありません。	－	荷台のラッチを調整します。
9	クレビスピン (5 インチ ヘアピン 六角ヘッドボルト1/2 x 5-1/2 インチ ロックナット1/2 インチ	1 1 1 1	昇降アクチュエータを取り付けます。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

荷台の取り外し準備

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、キーを抜き取る。
2. 荷台を完全に空にする。
3. テールゲートが閉じていることを確認する。
4. 車両の隣の床に、新しい荷台を上下を逆さにして置く。

注 荷台の下にボール紙などを敷いて荷台を保護してください。

▲ 警告

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでも車両を始動させることができ、危険である。

整備・調整作業の前には必ず始動キーを抜いておくこと。

2

荷台を外す。

必要なパーツはありません。

手動式荷台搭載車の荷台

荷台の重量約 57kg

1. 荷台の前側の角部の近くにあるラッチレバーを持ち上げて、荷台を完全に上昇させる図1。

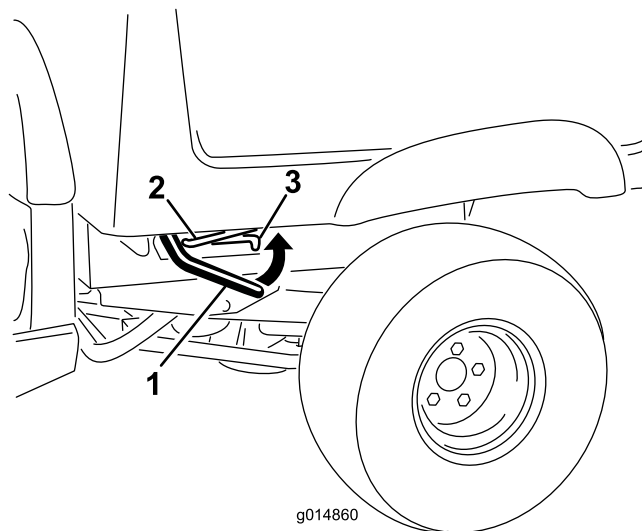


図 1

1. ラッチレバー
2. 支え棒ブロッブロッド
3. ロック位置スロット

2. 荷台が上がったら、車体の左側ブレームについている支え棒を、荷台の底部についているスロットの奥まで入れて荷台を支える図1。

注 ロッドサポートブラケットにボルトが入っている車両の場合には、ブラケットのスロットの後ろ側の穴に支え棒を入れてください。

3. 荷台の前後に吊り上げ用のホイストを接続する。

注 荷台の前側をホイストで少し持ち上げて支える。

4. サドルブラケットと支え棒の上端を荷台に固定しているキャリッジボルト 2本 5/16 x 5 インチと歯付きナット 5/16 インチ 2個を外す図2。

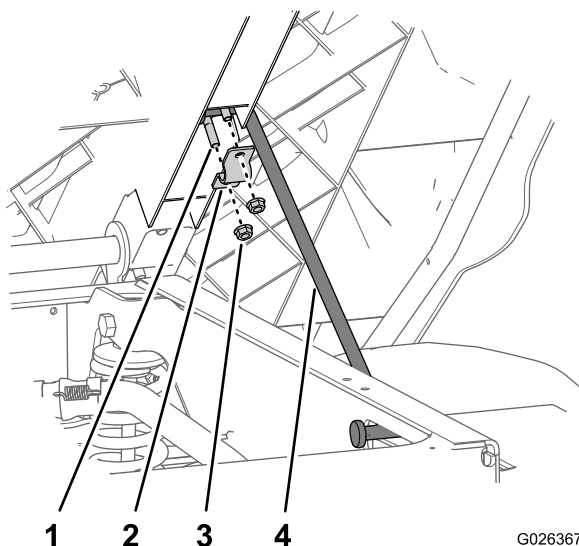


図 2

G026367

1. キャリッジボルト5/16 x 5 インチ
2. サドルブラケット
3. 歯付きナット
4. 支え棒

5. 支え棒の下端を、左側フレームのチャンネル部材または車体の支え棒ブラケットのスロットの前端まで移動させる 図 3。

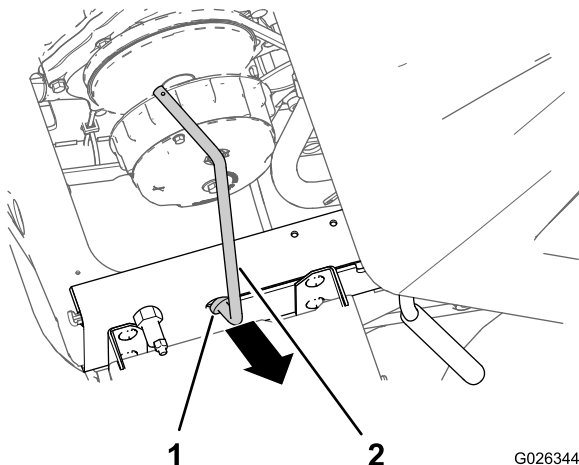


図 3

G026344

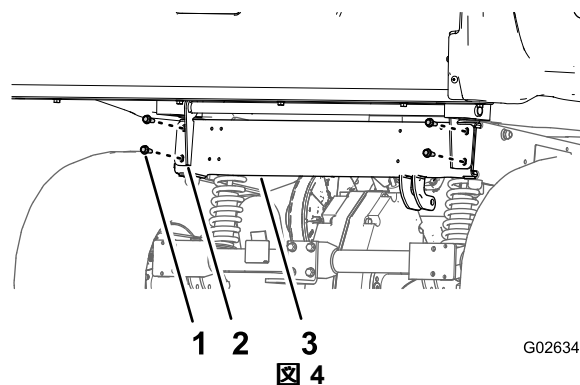
1. キー穴支え棒ブラケット用スロットの端図は左側フレームのチャンネル部材にスロットがある場合。車体に支え棒ブラケットがある場合も構造は似ている
2. 支え棒

6. スロットの端についているキー穴から支え棒を抜き取る 図 3。

注 取り外した支え棒、ワッシャ1/2 インチ、ヘアピンは廃棄してください。

7. 吊り上げていた荷台前部を下す。
8. 荷台のヒンジブラケットを車体の後フレームチャンネル部材に固定しているフランジヘッドボルト4本3/8 x 1 インチを外す 図 4。

注 フランジヘッドボルトは新しい荷台の取り付けに使用する。



G026345

1. フランジヘッドボルト(3/8 x 1 インチ)
2. ヒンジブラケット
3. 後フレームチャンネル

9. 荷台の前側の角部近くあるラッチレバーを持ち上げて 図 1。
10. 荷台を車体から浮かせて取り外す 図 5。

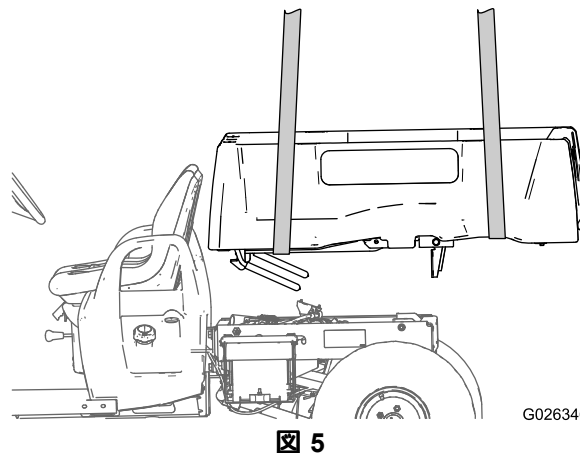


図 5

G026346

11. 荷台を上下逆さにして床に置く。

電動式荷台搭載車の場合

荷台の重量約 57kg

1. 電源スイッチを ON 位置にする図 6。

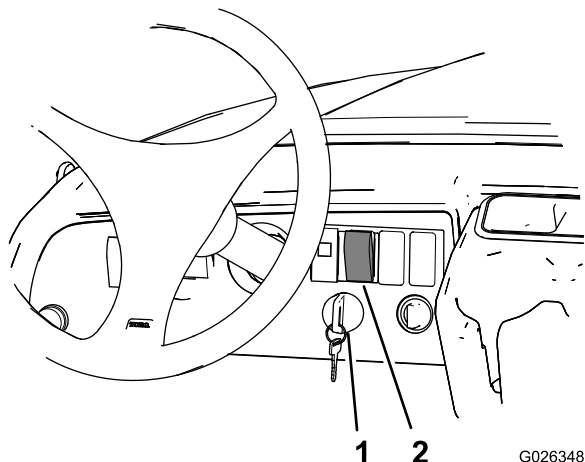


図 6

1. 始動キー
2. 昇降スイッチ荷台用

2. 荷台昇降スイッチの上半分を押して荷台を完全に上昇させる 図 6。
3. 電源スイッチを OFF 位置にする 図 6。
4. 荷台の前後に吊り上げ用のホイストを接続する。

注 荷台の前側をホイストで少し持ち上げて支える。

5. 昇降ブラケットからヘアピンとコッターピンを抜き取る 図 7。

注 外したヘアピンとクレビスピンは廃棄してください。

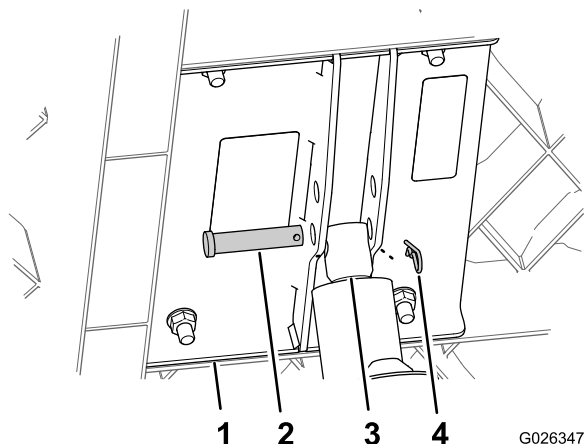


図 7

1. 昇降ブラケット
2. クレビスピン
3. 昇降アクチュエータのロッド
4. ヘアピン

6. 昇降ブラケットから、昇降ロッドを外す 図 7。
7. 電源スイッチを ON 位置にする 図 6。

8. 荷台昇降スイッチの下半分を押してアクチュエータを行程一杯まで作動させる 図 6。
9. 電源スイッチを OFF 位置にする 図 6。
10. 車体フレームの上に荷台を降ろす。
11. 荷台のヒンジブラケットを車体の後フレームチャンネル部材に固定しているフランジヘッドボルト4本3/8 x 1 インチを外す 図 4。

注 フランジヘッドボルトは新しい荷台の取り付けに使用する。

12. 荷台を車体から浮かせて取り外す 図 5。
13. 荷台を上下逆さにして床に置く。

3

ピボットブラケット・アセンブリの取り外しと取り付け

この作業に必要なパーツ

2	ピボットブロック
4	フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/2 インチ

手順

1. 古い方の荷台から、ピボットブロック2個とピボットブラケット・アセンブリをボトムボックスに固定しているキャリッジボルト4本3/8 x 5 インチと歯付きナット4個3/8 インチを取り外す 図 8。

注 古いピボットブロックは廃棄してください。

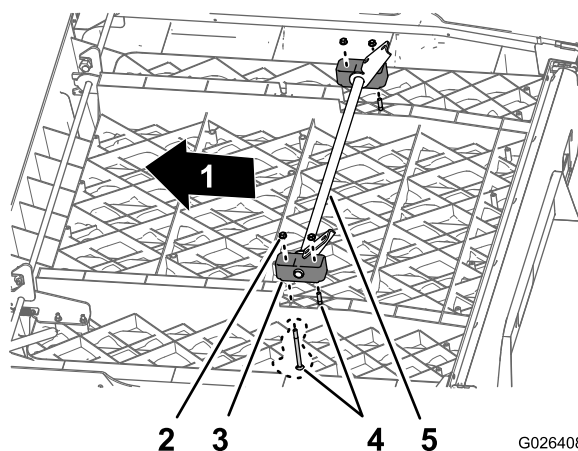
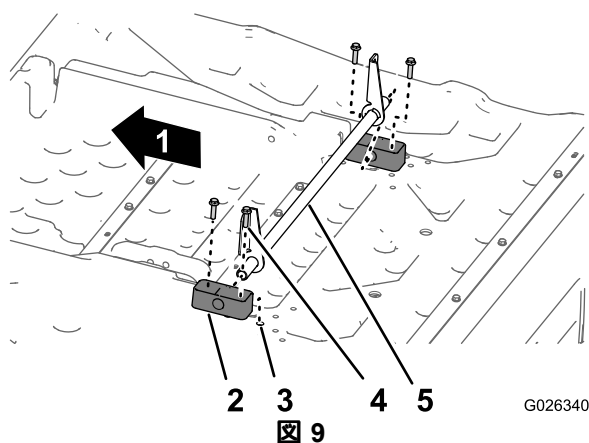


図 8

1. 前
2. フランジナット
3. ピボットブロック
4. キャリッジボルト
5. ピボットブラケット・アセンブリ

2. ピボットブラケット・アセンブリのパイプ端をピボットブロックに挿入する 図9。



1. 前
2. ピボットブロック
3. ねじ付きインサート荷台用
4. フランジヘッドボルト3/8 x 1-1/2 インチ
5. ピボットブラケット・アセンブリ

3. もう1個のピボットブロックを、ピボットブラケットのパイプのもう一方の一端に取り付ける 図9。
4. **新しい方**の荷台で、新しいピボットブロックについている取り付け穴を、荷台についているねじ付きインサートに合わせ、フランジヘッドボルト4本3/8 x 1-1/2 インチを使ってブロックを取り付け、ボルトを手締めする 図9。
5. フランジヘッドボルトを3745Nm3.74.6kg.m = 2719ft-lbにトルク締めする。

4

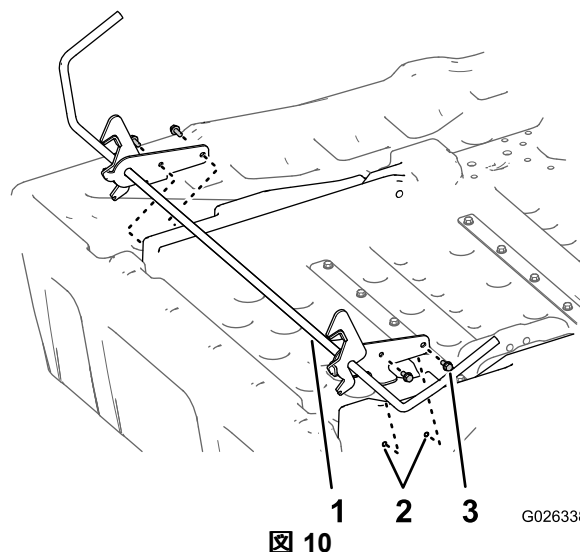
ラッチ・アセンブリを取り付ける手動式荷台搭載車

この作業に必要なパーツ

1	ラッチ・アセンブリ
4	フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
2	取っ手

手順

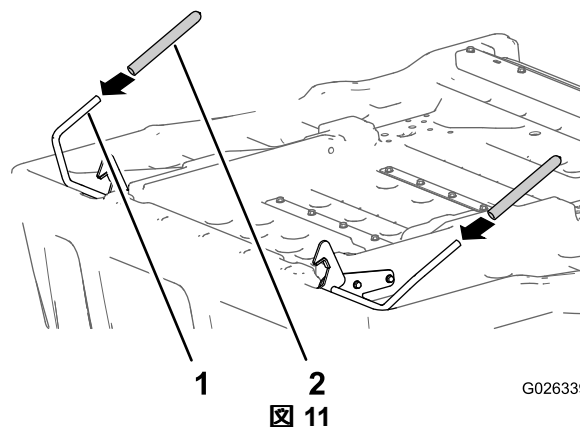
1. キット付属のラッチ・アセンブリの取り付け穴を、新しい荷台のねじ付きインサートの穴に整列させる 図10。



1. ラッチアセンブリ
2. ねじ付きインサート荷台用
3. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ

2. 荷台にラッチを取り付けるフランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ4本を使用し、図10のように取り付ける。
3. ボルトを1517Nm1.51.7kg.m = 133147in-lbにトルク締めする。
4. ラッチ・アセンブリのそれぞれの端部に取り手を取り付ける 図11。

注 レバーに石鹼水を塗ると取手を取り付けやすくなります。



1. レバーラッチ・アセンブリ
2. 取っ手

5. スプリングの長い方の端部を、ラッチ・アセンブリのスプリングサドルに合わせる 図12。

5

支え棒を取り付ける手動式荷台搭載車

この作業に必要なパーツ

1	支え棒プロップロッド
1	ワッシャ1/2 インチ
1	ヘアピン

手順

1. 支え棒の長い方の脚を、荷台の右下側にある長さ 12.7mm の水平穴に入れる 図 13。

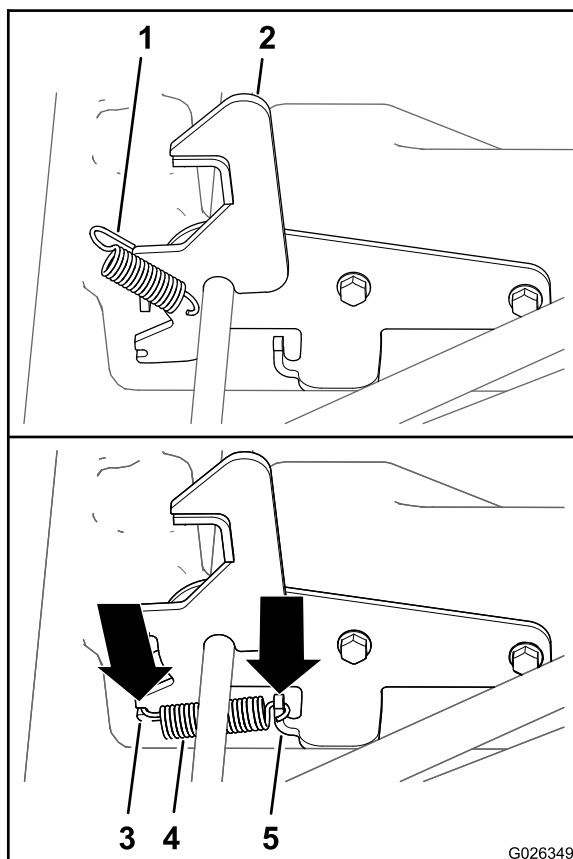


図 12

1. 長い方の端部
2. ラッチ・アセンブリ
3. スプリングサドル
4. スプリング
5. スプリング・ポスト

6. スプリングの短い方の端部を、ラッチのスプリングポストに合わせる 図 12。
7. もう1つのラッチについても同様にステップ 5 と 6 を行う 図 12。

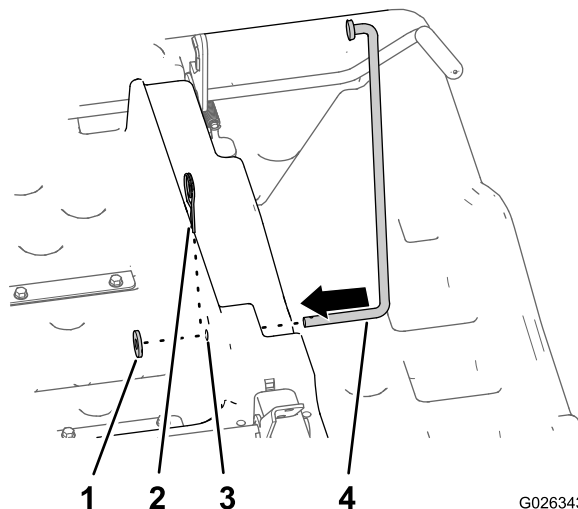


図 13

1. ワッシャ1/2 インチ
2. ヘアピン
3. 12.7mm の穴荷台
4. 支え棒長い方の脚

2. 支え棒の長い方の脚にワッシャ 1/2 インチ を通し、ヘアピンを使って支え棒を荷台に固定する 図 13。
3. 固定テープを使って支え棒を荷台に固定する

6

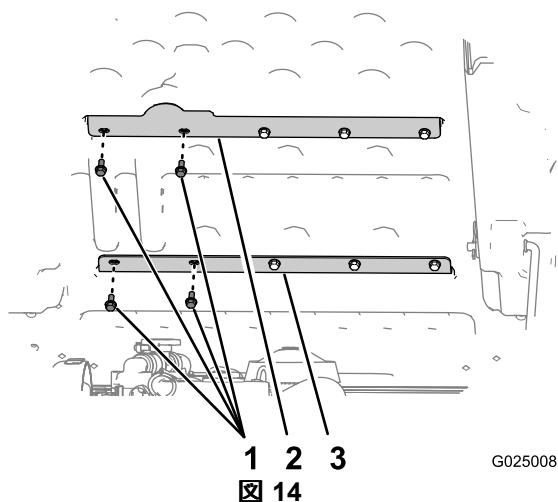
昇降ブラケットを取り付ける電動式荷台搭載車

この作業に必要なパーツ

1	外側昇降ブラケット
1	内側昇降ブラケット
1	六角ヘッドボルト5/16 x 5-1/2 インチ
1	ロックナット5/16 インチ

手順

1. 一番左側にあって上側荷台ブレースを荷台に固定している2本のボルト5/16 x 3/4 インチを外す図 14。



1. ボルト5/16 x 3/4 インチ
2. 上側荷台ブレース
3. 下側荷台ブレース

2. 一番左側にあって下側荷台ブレースを荷台に固定している2本のボルト5/16 x 3/4 インチを外す図 14。

注 ボルト4本は再取り付けするので捨てないこと。

3. 左側昇降ブラケット短いフランジのブラケットを、上側および下側の荷台ブレースにある外側の穴に合わせる図 15。

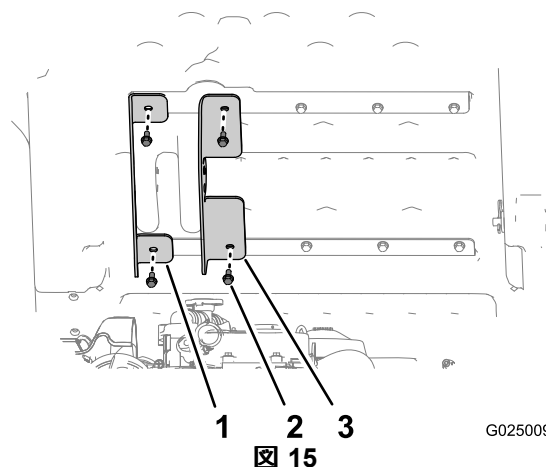


図 15

1. 外側昇降ブラケット短いフランジ
2. ボルト5/16 x 3/4 インチ
3. 内側昇降ブラケット長いフランジ

4. ステップ1で外したボルト2本を使って、外側昇降ブラケットを荷台に取り付け、手締め状態にする図 15。
5. 内側昇降ブラケット長いフランジのブラケットを、上側および下側の荷台ブレースにある内側の穴に合わせる図 15。
6. ステップ2で外したボルト2本を使って、内側昇降ブラケットを荷台に取り付け、手締め状態にする図 15。
7. 図 16に示すように、六角ヘッドボルト5/16 x 5-1/2 インチを、7.9mm の穴内側昇降ブラケット長いフランジ、荷台、外側昇降ブラケット短いフランジに通す。

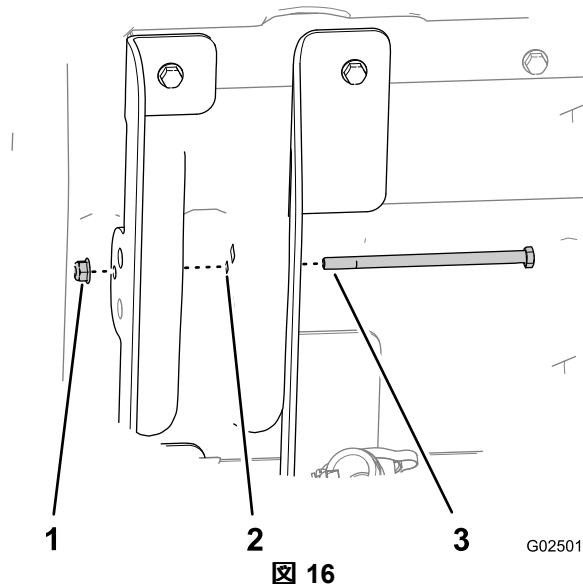


図 16

1. ロックナット5/16 インチ
2. 直径 7.9mm の穴
3. 六角ヘッドボルト5/16 x 5-1/2 インチ

8. フランジナット5/16インチでボルトを手締めする図16。

7

荷台を取り付ける

必要なパーツはありません。

手動式荷台搭載車の荷台

1. ピボットブラケット・アセンブリと支え棒が下になるように荷台を裏返しにする。
2. 荷台の前後にホイストなどの昇降装置を使って荷台を吊り上げ、ピボットブラケット・アセンブリを後ろ側にむけて、車体に装着できるように位置合わせを行う図17。

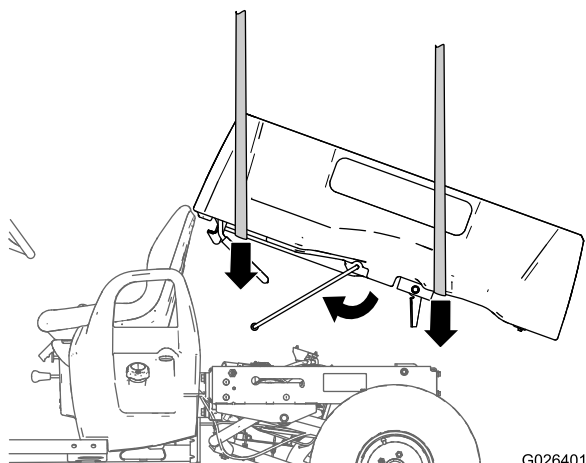


図17

G026401

3. 支え棒を荷台に固定しているテープステップ35支え棒を取り付ける手動式荷台搭載車(ページ7)で固定したを外す。
4. 支え棒の短い方の脚が左フレームのチャンネルのスロットまたは支え棒ブラケットのスロットのキー穴にそろえるように、昇降装置の高さおよび位置を調整する図17。

注 支持棒とキー穴を合わせる際には、昇降装置で荷台を少し上昇させる必要があります。

5. 支え棒を前に倒し、短い方の脚をキー穴に入れる図17と図18。

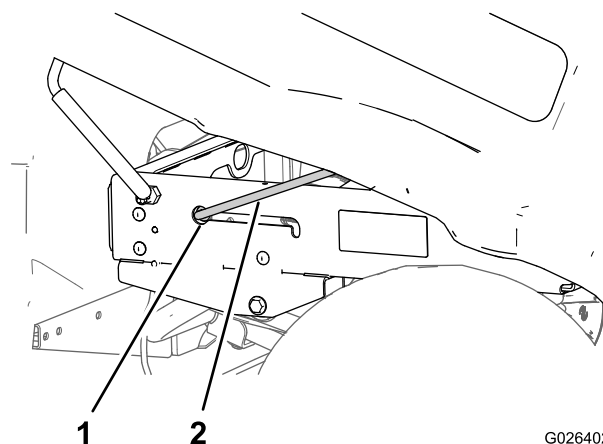


図18

G026402

1. キー穴支持棒のスロット
2. 支持棒ブロッブロッド

6. 荷台と支持棒を後ろにずらして、ピボットブラケット・アセンブリを後フレームのチャンネル部材に整列させる図18。
7. ピボットブラケットの穴と車体の後フレームチャンネルにある荷台取り付け穴とが整列するように、荷台を車体上に注意深く降ろす図19。

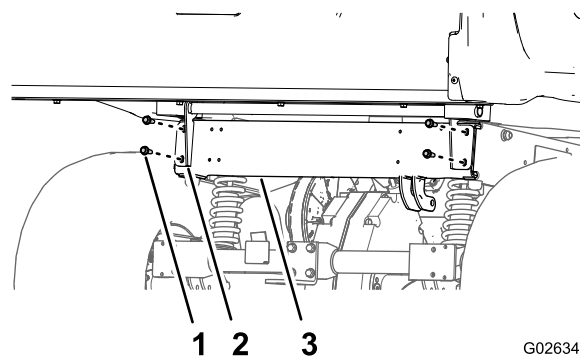


図19

G026345

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1インチ
2. ヒンジブラケット
3. 後フレームチャンネル

8. ピボットブラケットを後フレームチャンネルに固定するフランジヘッドボルト3/8 x 1インチ4本ステップ8手動式荷台搭載車の荷台(ページ3)で取り外したものを使用する。図19を参照。
9. フランジヘッドボルトを37-45 Nm 3.74.6kg.m = 2733ft-lbにトルク締めする。

電動式荷台搭載車の場合

1. ピボットブラケット・アセンブリが下になるように、新しい荷台を裏返しにする。
2. ホイストなどを使って荷台を吊り上げ、ピボットブラケット・アセンブリが後フレームチャンネルに整列するように、車体フレーム上に降ろす 図 20。

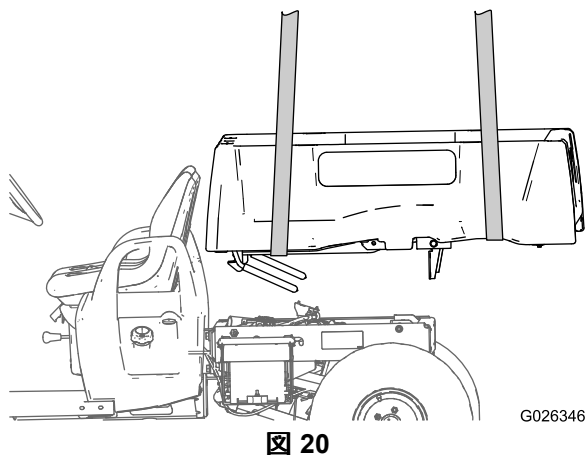


図 20

G026346

3. ピボットブラケットの穴と車体の後フレームチャンネルにある荷台取り付け穴とが整列するように、荷台を車体上に注意深く降ろす 図 19。
4. ピボットブラケットを後フレームチャンネルに固定するフランジヘッドボルト 3/8 x 1 インチ 4 本 ステップ 8 電動式荷台搭載車の場合 (ページ 5) で取り外したものを使用する。図 19 を参照。
5. フランジヘッドボルトを 37.45 Nm (3.74 kg.m = 27.33 ft-lb) にトルク締めする。

8

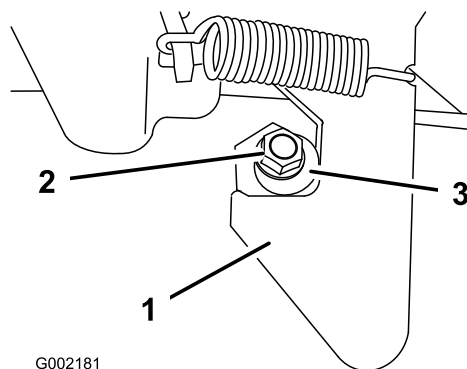
荷台のラッチを調整する手動式荷台搭載車

必要なパーツはありません。

手順

1. 支え棒の短い方の脚を後ディテントから抜いて支持棒による支えを解除する。
2. 荷台前部を静かに降下させてラッチをラッチポストに接触させる 図 21。

注 ラッチポストと、ラッチの盛り上がり部分とが合っていれば問題ない。



G002181

図 21

1. ラッチ
2. ロックナット
3. ラッチポスト

3. 荷台のラッチのレバーを引き上げ、荷台前部を押し下げて完全に降下させ、ラッチレバーから手を放す。

注 荷台のラッチが確実にハマらないと、走行するときに荷台が上下に振動します。このような場合には、ラッチのポストを調節して、荷台がシャーシにきれいに収まるようにしてください。

4. ラッチポストの端についているロックナットをゆるめる 図 21。
5. ラッチポストを右回りに回転させてラッチのフック部にちょうどはまるようにする 図 21。
6. ロックナットを、19.7 25.4 Nm (2.0 2.6 kg.m = 175 225 in-lb) にトルク締めする。
7. 荷台の反対側でも同じ作業ステップ 1 - 3 を行う。

9

昇降アクチュエータを取り付ける電動式荷台搭載車

この作業に必要なパーツ

1	クレビスピン (5 インチ)
1	ヘアピン
1	六角ヘッドボルト 1/2 x 5-1/2 インチ
1	ロックナット 1/2 インチ

手順

1. 荷台後部からホイストを外す。

注 荷台前部のホイストは外さないでください。

2. ホイストで荷台前部を吊り上げて、荷台がシャーシに対して約45度傾いた状態にする。
3. 電源スイッチを ON 位置にする図 22。

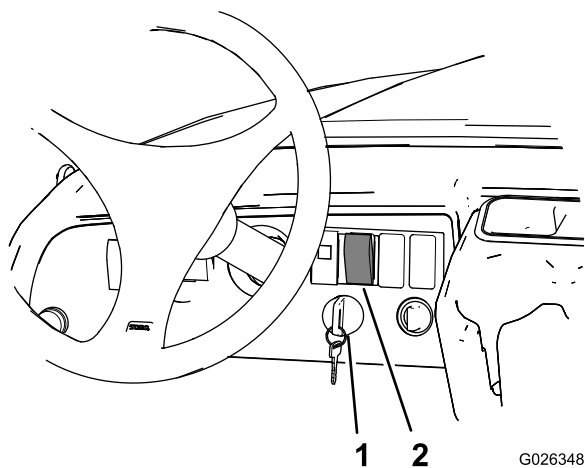


図 22

1. 始動キー
2. 昇降スイッチ荷台用

4. 荷台昇降スイッチの上半分を押してアクチュエータが完全に伸びた状態にする図 22。
5. 電源スイッチを OFF 位置にする図 22。
6. 外側・内側昇降ブラケットにアクチュエータ用のクレビスピンを入れる穴は、ワークマンのモデルによって異なるので、どの穴を使用すべきかを確認する図 23。



図 23

1. ピンの位置

7. 荷台アクチュエータのロッドの端部の穴を昇降ブラケットの穴に合わせる。

注 ブラケットについているガソリン用・ディーゼル用の穴から車両に合ったものを選びます。この車両の穴の位置については、安全ラベルと指示ラベル (ページ 1) を参照のこと。

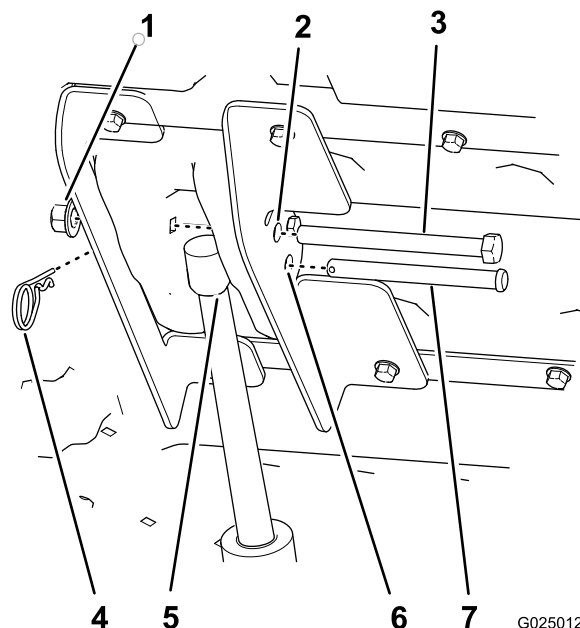


図 24

1. ロックナット1/2 インチ
2. 六角ヘッドボルト用の12.7 mm の穴
3. 六角ヘッドボルト1/2 x 5-1/2 インチ
4. ヘアピン
5. 昇降アクチュエータのロッド
6. クレビスピン用の12.7 mm の穴
7. クレビスピン3-1/2 インチ

8. 昇降アクチュエータのロッドを昇降ブラケットに固定するクレビスピン3-1/2 インチとヘアピンを使用する図 24。

注 ロックナットとフランジナットを軽く締め付ける。

9. 内側・外側の昇降ブラケットを荷台に固定している4本のボルト5/16 x 3/4 インチ図 15をトルク締めする15-16.6 Nm1.5-1.7 kg.m = 133-147 in-lb。
10. 内側・外側の昇降ブラケットの残っている穴12.7 mmに六角ヘッドボルト1/2 x 5-1/2 インチを通し図 24、ナット1/2 インチで軽く止めつける。
11. ボルト5/16 インチをとめているフランジナットを軽く締める図 16。



Count on it.